

季節の行事__「端午の節供」 行事を取り入れる！

第166号 2020年5月4日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カガヤ 奥山卓矢

端午の節供

昨年1年間、カゲヤクルーの宮前さんから「室礼」についての
インタビューをさせて頂いていました。インタビュー記事は[こちら](#)から。

そして、今年は自分もやってみる！ことを大切にしています。
インタビューを通して、知ったこと・大事にしたいと思ったことを
行う事＝行事だと教えて頂きました。

端午の節供とは、[こちら](#)から（「端午の節供」の室礼～2017年～）

今回は「端午の節供」ということで、こどもの日にまつわる
行事食からこどもの日を味わいました。

派手なことを行うのではなく、楽しむこと、季節の巡りに感謝することを
大事にしました。

こどもの日には、男の子の健やかな成長を願い、様々な形でお祝いする
行事です。

筍：出世を意味する食材で、健やかにまっすぐ成長するようにと思いを込め
頂き物の筍を使った、タケノコご飯・タケノコとワカメのお吸い物です。

兜：武将にとっての鎧や兜は、自分の身を護るための大切な道具でした。
このことから、命を守る象徴と考えられ、男の子を事故や病気、災害などか
ら守ってくれますように。という願いを込めています。

柏餅：柏の木は縁起物とされ、春の新芽が出る時期まで葉を落とさない
ことから「子孫繁栄＝家系が途切れないように」という意味を込めて、
端午の節供で食べられるようになったそうです。



土鍋にたっぷりタケノコ！



端午の節供を振り返って

●過去のバックナンバー

第 163 号

自分を選んで生まれてきたよ

第 164 号

結婚式までの体験談④

第 165 号

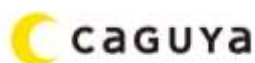
新型コロナウイルスに対する各園の取り組み

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>

子どもの頃から馴染みのある端午の節供に合わせて、今回出来ることを自分なりに楽しめました。ちょうどいいタイミングで頂いた筍。

折り紙で兜を作ったらティッシュに描かれた顔に兜を被っている人形

これまでは親にお祝いしてもらっていたことを、大人になり、季節の行事を暮らしに取り入れるというのは不思議な感覚です。ただ昨年宮前さんから話を伺っていましたが、やはり自分で体験したり、その中で楽しむということが大事なことだと改めて実感しました。



7161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2 号館 10 階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします